

第63回国立大学法人奈良女子大学経営協議会議事要録

日 時 令和元年5月29日(水) 10時00分～11時50分
場 所 第一会議室(事務局管理棟3階)
出席者 今岡学長, 藤原理事, 小路田理事, 小川理事, 井深理事,
牧田委員, 村岡委員, 山川委員
欠席者 井岡委員, 尾池委員, 松本委員
列席者 岩阪事務局次長/総務・企画課長, 桑原国際課長, 川村研究協力課長,
林財務課長, 清水施設企画課長, 鱸学務課長, 西村学生生活課長,
仲入試課長, 横井学術情報課長,
荒堀総務・企画課課長補佐, 境総務・企画課総務係長
議 長 今岡学長

議事に先立ち,

- (1) 学長から, 今年度第1回目の開催にあたっての挨拶の後, 再任された理事, 委員の紹介。続いて井深理事から, 新任課長の紹介。
- (2) 第62回経営協議会(平成31年3月26日開催)記録を確認。

審議事項

1. 国立大学法人奈良設立に関する合意書(案)等について

学長から, 前回からの経緯について説明があり, 更新合意書ではなく, 経営面にウェイトを置いた合意書を締結することを考えているとの説明があり, 資料1-1により合意書(案)の概要について, 資料1-2により国立大学法人奈良設立推進協議会要項(案), 国立大学法人奈良設立準備室要項(案)及び連携教育開発機構設置準備室要項(案)について説明があった。続いて井深理事から, 参考資料により本学と奈良教育大学の財務状況, 人事・給与に関する状況, 施設・設備の状況, 入試状況及び法人統合による経営面でのメリット及び課題について説明があり, 学長から委員に対して意見を伺いたいとの発言があった。

牧田委員からは, 法人統合後の両大学への運営費交付金の配分について, 統合前の各大学の運営費交付金比率をベースに配分したところで, 現状を鑑みると大部分が人件費に充当されることになることになるとの意見があり, 学長から, 運営費交付金の自由度を上げることは難しいが, 教員の給与制度の見直しを現在検討しているとの説明があった。

村岡委員からは, 合意書については賛成する, 大学を取巻く環境の変化, 日本の国際競争力が低下していることを鑑みると, 現状維持ではなく, チャレンジするという今回のポジティブなアプローチが今考えられるベストな選択であるとの意見があった。

山川委員からは, 経営の合理化・効率化については目に見える成果が数値のみであり限定的である, 法人統合の目玉は女子に限定した工学部設置と考えるので, 合意書の柱にそのことの記載がないことは残念だが, 工学部構想の検討を後回しにせずに進めていただきたいとの意見があった。また, 新法人の名称について, 今後文科省との協議に

よって変わる可能性があることを理解しているが、現在の形式的な名称でなく「大和」という言葉を使うなど工夫したほうがよいのではないかとの意見があった。また、学生募集に影響がでないよう受験生には本学に対してポジティブなイメージを持たせる必要があるので、受験生向けのキャッチフレーズを工夫したほうがよいのではないかとの意見があった。

小路田理事から、工学教育に関する検討は、継続的に両大学の教員で進めており、関西文化学術研究都市でATR等の研究機関と連携した授業を来年度から実施することも検討しているとの説明があった。

以上、意見交換の結果、原案のとおり承認し、役員会へ付議することとした。

2. その他

特になし

報告事項

1. 非常勤理事について

学長から、高等教育無償化（給付型奨学金）に係る機関要件を満たすために、2020年4月に学外理事を2名配置する必要があり、1名については、DMG森精機から紹介いただいた同社社外取締役の野村剛氏に産学官連携担当理事（非常勤）として就任いただくことになり、今年7月から毎月1回、役員と意見交換を行うとの報告があった。

2. 本学の現状等について

学長及び各担当理事から、次の事項について報告があった。

- (1) 奈良県内文部科学省4機関における連携・協力に関する協定書
- (2) トランスジェンダー学生の受入について
- (3) 卓越大学院プログラムの申請について
- (4) ダイバーシティ研究環境実現イニシアティブの申請について
- (5) 奈良女子大学における受動喫煙防止対策の基本方針の一部改正について
- (6) 創立百十周年記念式典・講演会・祝賀会について
- (7) 広報誌 Today Vol.32

3. その他

特になし

以 上